



# 座学 教えて! 山の一日先生

～小学校に、山の一日先生がやってきた!～

2020年11月。高知市立横内小学校の体育館で、山の一日先生である佐藤知幸さんによる授業が行われました。この日、参加したのは87人の5年生。佐藤先生は、スライドを使いながらわかりやすく、森林の働きについて説明してくれました。

## 今日の山の一日先生

高知県立雨喜ヶ峰森林公園 指導員／佐藤知幸さん

まずは、みんなに疑問を持ってもらうことが、授業を行う上での前提だと話す佐藤さん。「疑問に思わなければ関心はわきません。何年後に、あの話はこのことだったのかと思いついてくれればいいんじゃないかな」。佐藤さんは、座学の他、フィールドワークの授業も行っています。



**山の一日先生って、どんなことをするの??**

**A** 森や山に対する理解や関心を深めることを目的として、学校ごとの取り組みにあわせて、森や自然に親しむ活動をサポートしています。県内の小学校や児童クラブ、中学校などに行ってお話をしたり、子どもたちと一緒に自然散策をしたりしながら、木と人との関わりや森を守り育てることの大切さについて知ってもらいます。

**どんな授業をするの??**

**A** 室内での森林学習の他、森の施設に集まって一緒にまわりを歩いたり、木を切る体験をするなど、実際に森に入っていく自然体験や林業体験、間伐材を利用した木工クラフト教室など、さまざまなものがあります。また、要望に応じてプログラムを組み合わせることもできます。

**どんな効果があるの??**

**A** 身近にある自然のすばらしさを見直し、あらためて関心をもち、守るために自分ができることを考えるきっかけになります。その結果、自分が住んでいる地域、まわりの人や自然に対して思いやりのある優しい気持ちを育みます。

**根っこはどのくらい深く伸びるの??**

**A** 木の種類によって違います。スギやマツのような木は、根がまっすぐ下に伸びていくので、高さ10mの木であれば、根は地下3mくらいまで伸びています。ところが、ヒノキのように、根を横に広げて張り巡らす木もあります。大きな石が多い場所に植えられると、大地をしっかつかまえて幹を支えることができるんだね。

**なぜ日本には人工林が多いの??**

**A** もともとは自然林だった山の木を補うために植えたのが始まりです。昔、日本は戦争をしました。戦争はよくないことです。戦後は、辺り一面が焼け野原になっていました。そこで、家を建てたり燃料をつくったりするために、山の木をたくさん伐って使いました。もちろん、伐れば伐るだけ無くなりません。そのままではいけないということで、人工的にどんどん植えたというわけなんだ。

**大きな木も倒れたりするの??**

**A** 強い地震や大きな台風で倒れることがあります。雨喜ヶ峰森林公園でも、2年前の大きな台風の時、何本かの木が倒れました。非常に重くてどっしりした木でも、自然の力にはかなわないんだ。

**この日の取材の様子はこちらからYouTubeチャンネル 森林環境情報誌 もりりん**



先生のお話が始まると、みんな、真剣な眼差しで聞き入ります。



「土砂災害を防ぐ」「二酸化炭素を吸収して、酸素をつくる」「生き物のすみかになる」「家や床、机や鉛筆になると、森の働きをテーマごとにわかりやすく説明する佐藤さんは、自分の思いもすっかり伝えます。例えば、地球温暖化では、「森の樹木は、光合成により大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素をつくりながら炭素を体(林内)に蓄え、成長します。地球温暖化の原因となる二酸化炭素の増加を防ぐ大切なはたらきです。しかし近年、手入れの行き届かない森が増えて

後半の質疑応答では、「木の根は何メートルくらい伸びているの?」「なぜ人工林が多いの?」「すごく大きな木でも倒れることがあるの?」など、5名の児童が質問して、あつという間の1時間となりました。児童たちは「知らないことがたくさんあって勉強になりました。有難うございました!」と佐藤さんにお礼を述べて、「山への思いを伝える」山の一日先生の授業は終了しました。



授業の後は、みんなが先生に質問する時間です。

高知市立横内小学校  
高知市横内242-12

「心豊かな横内の子」の育成を校是とする横内小学校では、森林に関心を持ち、身近な自然を大切に育てるため、森林環境教育への学校独自の取り組みを進めています。



この日の取材の様子はこちらから  
YouTubeチャンネル  
森林環境情報誌 もりりん



この体育館は、木材でできています。木材で建物を作るには、山から木を伐り出してこなければいけません。来週、みなさんにちょっとだけ木を伐る経験してもらいたいと思います。ノコギリで木を伐ることがどれだけ大変な作業なのか、また、山から運び出す木がどれくらい重いものかということを実際に経験することで、今日、私がお話した森について、もっと興味をもってもらえたらいいなと思います。



翌週、雨喜ヶ峰森林公園にて。聞くだけでなく体験することで理解を深めるみんな。